

# 指定管理者総合評価シート

## 1 施設の概要

施設名	豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地	所在地	豊岡市城崎町今津1362番地
設置目的	コウノトリが舞い降りる多様な生物相を有する湿地環境を保全し、自然の中で生きるコウノトリを間近で感じることで、コウノトリも住める豊かな環境や人と自然の共生への理解を深める。	設置年月日	
		2009年1月1日	
選考方法	公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方向性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	—

## 2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	コウノトリ湿地ネット	指定期間	2018年4月1日から2023年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 本湿地の管理に関する業務 (2) コウノトリ野生復帰についての普及啓発に関する業務 (3) 本湿地に関する研究活動の支援に関する業務 (4) 本湿地を利用した環境学習の推進に関する業務	指定管理料（千円）	2018年度	8,396	千円
			2019年度	8,474	千円
			2020年度	8,552	千円
			2021年度	8,552	千円
			2022年度	8,692	千円

## 3 総合評価

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

（上記の判断理由や具体的内容）

長引くコロナ禍の影響で、来館者数は2020年度は約3,700人と2019年度の51%まで減少した。しかしながら、コロナ禍においてもイベント等を実施し、野生復帰の普及啓発に務めている他、地元高校生や企業が研究活動やCSR等のフィールドとして定期的に利用されている。また、同湿地内の人工巣塔では、14年連続してコウノトリが繁殖しており、秋以降のエサ生物が少なくなる時期でもコウノトリが頻りに利用するなど、コウノトリの生息環境に適した湿地環境が維持されている。

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

(ア) 本施設はコウノトリの生息に適した湿地環境の研究や環境学習や研究活動等のフィールド活用が主な設置目的であるものの、城崎温泉から野生のコウノトリを見ることが出来る一番近い施設であるため、観光客が訪れることも多い。指定管理者の創意工夫の元で展示や自主事業等を実施して来館者ニーズに応えると共に、専門性を十分に活かすことができる人員配置など持続可能な体制の確保が必要がある。  
(イ) 引き続き市の経費負担は必要であるが、大幅な増額は困難である。指定管理者が創意工夫をしながら人材確保を行っていく必要がある。

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

（上記の判断理由や具体的内容）

指定管理者のたゆまぬ努力によりコウノトリの生息環境に適した湿地環境の維持向上に努めてきた結果、ハチゴロウの戸島湿地内でコウノトリが14年間繁殖を続けている他、2020年度からは本湿地近くの電柱でもコウノトリが繁殖を始めている。施設の設置目的を果たしており、現在の指定管理者制度を継続する。

### (4) 指定管理者制度評価委員会の意見

指定管理者制度導入の効果が認められるため、引き続き同制度による管理運営が適切であると判断する。選定方法は、公募とする。課題である来館者のニーズに対応できる人材育成や、専門分野の人材確保などに努めること。

1～3(3)を所管課が記入する。